

令和5年度 宮崎県内各市町村における独自の子育て支援策一覧

赤：金銭的支援、青：その他の支援

市町村	支援の項目	支援の内容	出生前	小学校就学前				小学校就学後												
								～小学校卒業			～中学校卒業				～高校卒業					
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
宮崎市	児童プール運営事業	夏季期間中、児童の健全な遊び場を確保し戶外活動(水浴)を支援するとともに、河川等における水質事故を防ぐため、市内12箇所児童プールを運営																		
	宮崎市総合発達支援センター	障がい児の早期発見・早期療育及び在宅療育(育児)の支援を行うため、指定管理者制度を活用し、医療ケアや相談部門を含む総合療育拠点である総合発達支援センターを運営																		
	ブックスタート事業	感心豊かな子どもを育成するため、7～8か月児健康診査の時に、絵本等の入ったブックスタート・バックを保護者にプレゼント																		
	ファミリー・サポート・センター利用料補助事業	安心して子育てができる環境整備を促進するため、ファミリー・サポート・センター依頼員(利用者)が補助員に支払う報酬の一部を助成。【補助額】児童手当支給世帯4,000円/1時間(自己負担額4,000円)																		
	多子世帯に係る保育料軽減	16歳未満の児童が3名以上いる世帯について、保育料の負担軽減を図るため、税法上はない扶養控除があるものとして市民税を再計算し、保育料を決定																		
	乳幼児任意予防接種事業	乳幼児の発症時の重症化を防止するため、個別医療機関において実施する任意のワクチン接種費用の一部を助成																		
ひとり親家庭等学習支援ボランティア事業	ひとり親家庭等の子どもの学習習慣や基本的な生活習慣を確立し、学習意欲の向上を図るため、ボランティアによる学習支援や進路相談(市内3カ所)																			
都城市	都城市こども発達センターきらきら	発達障がい、またはその疑いのある未就学児の相談や小児科医の診察を実施																		
	子どもの生活・学習支援事業	小中学生を対象に地域のボランティアが、学習支援を通して、子どもの居場所や学習機会の確保を実施																		
	一般不妊治療医療費助成事業	人工授精による不妊治療を受けた夫婦に対して治療費を助成。また、不妊の原因を調べ検査を受けた夫婦に対して負担額の一部を助成。(ともに上限3万円まで)																		
	妊産婦に係る健診費用の完全無料化	妊産婦が受診する健康診査費用(妊婦健康診査、妊婦科健康診査、子宮頸がん検診、産婦健康診査)の完全無料化 ※産科検診・検診回数・メニューが対象																		
	0～2歳児までの保育料の完全無料化	・保育費や認定こども園などに通う0～2歳児の保育料を完全無料化 ※認可保育施設、企業主導型保育施設、一時保育事業、産後ケア事業、ファミリー・サポート・センター事業の利用料月額42,000円を上限に無料																		
	ファミリー・サポート・センター利用料補助事業	安心して子育てができる環境整備を促進するため、ファミリー・サポート・センター依頼員(利用者)が補助員に支払う報酬の一部を助成。 ※赤、【補助額】3,000円/1時間																		
預かり保育料の無料	幼稚園(1号認定)の2歳児クラスで3歳になった最初の3月31日までの子どもで保育の必要性の認定を受けた子どもの預かり保育料月額11,300円を上限に無料																			
副食費の無料	幼稚園、認定こども園に通う2歳児の1号認定子どもの副食費月額4,700円を上限に無料																			
延岡市	保育所利用者負担金(保育料)の負担軽減	・国基準より、全ての世帯で保育料の負担を軽減 ・保育料割引(多子軽減)のきょうだいカウント年齢を小学校就学前から中学校就学前まで延長して、子育て世代の負担を軽減																		
	移住・子育て住まい支援事業	18歳以下の子ども(約児を含む。)のいる子育て世帯や移住世帯に対する住宅取得費の支援額について、子ども1人当たり10万円を助成(上限あり)																		
	移住子育て家賃補助制度	18歳以下の子どもがいる、市外から転入した子育て世帯の家賃の一部を補助																		
	NPO法人学校支援はげまし隊	市内小学校の算数・数学、英語の授業を中心に、全教科に対応。授業内容の理解をサポートする支援、水泳や持久走時のみまもり支援、調理・器械実習のアシスタント支援、一緒に学びながら子どもをほめてはげます支援、自分の経験(キャリア)を子どもに伝える支援等がある。																		
	延岡こども未来創造機構	学校、家庭、地域と連携し、多様な学びの機会を創出している。STEAM教育や高校生向け調理コミュニケーション、自然体験、イングリッシュキャンプ、グローバルコミュニケーション、夢の教室など、こどもたちの創造性や探求心、生きる力を育む体験プログラムを実施している。																		
	ブックスタート「はじめての絵本ふれあい」事業	7か月健康相談時に、図書館職員による絵本の読み聞かせや読書案内・本の紹介を行い、ブックスタートとして絵本を1冊プレゼントする																		
日南市	めざせ小村寿太郎国際塾事業	国際感覚を養い、国際社会に貢献できる人材の育成と読書力向上のため、小学5、6年生の希望者を対象に週1回(6月～3月)無料の英会話学習を実施																		
	遠距離通学補助	通学距離が小学生で片道4km以上、中学生で6km以上の児童生徒を対象に通学費補助金要綱に基づき通学費を支援																		
	相談窓口	子育てなどの悩みについて、一元的に相談を受け付ける窓口を開設。従来の窓口・メールの相談に加え、LINEを活用した相談も可能(相談：無料)																		
小林市	小林市奨学金制度	一定の要件を満たす生徒に対し、無利子で奨学金を貸与 私立高等学校 月額10,000円 私立高等学校 月額12,000円 高等専門学校・専修学校 月額15,000円 大学(短大含む) 月額20,000円 ※小林市奨学生選考委員会審査し、教育委員会が決定																		
	学校給食費負担軽減補助	小学校・中学校の児童に対して給食費の半額を補助																		
	出産支援金	妊婦から出産に係る経済的負担の軽減等を目的に妊婦に、妊娠1回につき2万円を交付する。																		
	市内高等学校通学費補助	市内の高校へ定期券を利用して通学する生徒に対し、定期券購入費用の一部を助成する。																		
	小林市出産サポート119	緊急の出産時に、妊婦を救急車で産院等に緊急搬送するもの。																		
	おめでとう赤ちゃん祝品	出生した赤ちゃんとその保護者を社会全体で応援するため、応援メッセージやおむつ等子育て用品と木工玩具を贈呈する。																		
日向市	小林市子育て情報アプリ「こすもす」	小林市の子育てに必要な情報を提供する公式アプリ。 ○各種健診(妊婦期を含む)、予防接種の時期に加え、市の地域情報等を確認できる。 ○その他、オンライン相談の受付も行う。																		
	子育て世代転入・三世帯同居等促進事業補助金	共働きで18歳未満の子どもを養育する世帯に対し、親世帯との同居・近居、住環境改善に必要な引越費用や転居費用の一部を補助する。																		
	赤ちゃん相談・すくすく相談	育児・栄養・母乳相談や計測などの育児チェック、保護者の交流や情報交換を実施。 ・赤ちゃん相談～生後6か月までの赤ちゃんの保護者 ・すくすく相談～生後7か月～1歳未満の赤ちゃんの保護者																		
	2歳6か月児健康診査	生後予防の健康、発達の状態になる子どもに対する早期発見、早期療育を目的として、法定健診の間の時期に2歳6か月児健康診査を実施																		
	ドレミ教室・ソラシド教室	乳幼児健康診査の事後教室として、親子での遊びをおと子どもたちの成長を見守り、発達や子育てなど保護者の悩みなどを一緒に考えていく教室 ・ドレミ教室～1歳6か月児健康診査事後教室 ・ソラシド教室～2歳6か月児健康診査事後教室																		
	家族・親子支援プログラム	①コミュニケーション・ペアレントツィング・プログラム 子どもとの関わりに不安や悩みを抱える保護者に対し、子どもとのコミュニケーションの取り方や子どものしつけの方法を、わかりやすく学ぶ講座(託児可) 【対象】おむつ小学生以下の子どもの保護者 ※料金無料 【時期】年に2回(毎回未定) 幼児版全7回/学齢版全6回連続講座(その他フォローアップ講座あり) ②ほしつメソッド 子どもをほめる・しめる・つたえる際の関わり方を学ぶ、講師との1対1の1時間のオンライン講座(託児可) 【対象】おむつ小学生以下の子どもの保護者 ※料金無料 【時期】不定期開催 1回1時間																		
日向市公式アプリ	日向市公式アプリ内に子育て支援機能を搭載 ○各種健診(妊婦期を含む)や予防接種の時期の確認、直前に市からの通知受領 ○子どもの成長記録の登録 ○産後ケア事業や育児相談教室の紹介や、子ども医療費助成やひとり親家庭医療費助成などの助成制度や児童手当・児童扶養手当の案内の閲覧																			
日向市育英奨学金	人物・学業ともに優秀かつ健康でありながら、経済的理由により修学が困難であると認められる生徒・学生に対し、奨学金を貸与 【貸付額】高校生：月額20,000円 大学生・大学院生：月額30,000円 ※無利息																			
日向市提携教育ローン	九州労働金庫と提携して、市内に居住し、高等教育に係る教育資金を必要とする方に低金利で融資【融資額】子ども一人につき300万円以内(10万円単位) ※収入など融資要件あり																			

令和5年度 宮崎県内各市町村における独自の子育て支援策一覧

赤：金銭的支援、青：その他の支援

市町村	支援の項目	支援の内容	出生前	小学校就学前	小学校就学後		
					～小学校卒業	～中学校卒業	～高校卒業
串間市	教育・保育施設利用者への負担軽減	第3子以降の児童について保育料無料 (世帯に18歳未満の子どもが3人以上いる場合のみ) 2号認定子どもについて、満3歳から保育料無料					
	不妊治療費助成	不妊症・不育症の治療を行っている夫婦に対し、治療費の一部助成 【不妊治療】 治療に係る自己負担額 医療保険適用治療 50,000円まで/年 不妊原因を調べるための検査費 30,000円まで/年 【不育症治療】 1回の妊娠期間で40,000円まで 不育症治療については、自己負担額から宮崎市又は宮崎市の治療費助成額を差し引いた額					
	福島高等学校支援事業	①入学支援金(70,000円/人)の支給 ②選考委員会にて選考された生徒に対し給付型奨学金(月額20,000円/人)を支給 ③検定料受験料補助 ④九州大会又は全国大会に出場する部活動に対する補助 ⑤遠距離通学補助					
	公営塾開設	福島高校に公営塾を開設					
	遠距離通学補助	通学距離が片道4km以上で距離に応じて補助 公共交通機関を利用する場合は交通費の半額補助					
西都市	子ども医療費助成事業	子どもが受診した医療費の保険適用分について、全部もしくは一部を市が負担する。 【対象】中学生までの方(入院・入院外ともに中学校卒業の3月31日まで) 【負担額】 ・小学校入学前まで：入院、入院外、調剤薬品ともに自己負担なし ・小学校～中学校卒業まで：医療機関等(診療科目別)及び保険者ごとに、入院、入院外についてそれぞれ1人1月1,000円。調剤薬品については自己負担なし。					
	助産師ケア事業	産科助産師会に所属する助産師・院で助産師ケアを受けることができる。 1回に3,000円まで自己負担なし 【対象】妊婦・出産後2年以内の方 【内容】 ・妊娠、出産及び育児に関する相談(面接) ・脅威及び乳首ケア ・沐浴指導 ・ヘビーマッサージ					
	第2子以降の保育料無償化	市内に住所があり、次に掲げる事項をすべて満たす児童について保育料を無償化 ・生計を一にしている年長者から数えて2番目以降の児童 ・保育所(園)・認定こども園に通う0～2歳児クラスの児童					
	高等学校等に在学し選考委員会で決定した者への奨学金	高等学校等10,000円/月 高等専門学校・専修学校15,000円/月 六大学等20,000円～30,000円/月(入学一時金240,000円以内) 奨学金資金返済に市内に居住し、一定の要件を満たす場合に、返済額を上限として補助金を交付					
	総合学力調査料補助	年1回1教科あたり380円全額補助(小1～3年2教科、小5～6年4教科、中2年5教科)					
	実用英語検定料補助	年1回中2年生は4級以上、中3年生は3級以上の検定料を全額補助					
	遠距離通学補助	通学距離が小学生で片道4km以上、中学生で6km以上の児童生徒を対象に遠距離通学通学生に対する通学通園費補助金交付要綱に基づき通学費を補助					
子育て世代(40歳未満または中学生以下の子どもを養育し同居している方)の転入者が、市内に住宅を新築あるいは購入する場合、最大200万円の助成金を支給							
えびの市	飯野高等学校支援事業	県立高校である飯野高等学校に通学する生徒に対する支援 【支援内容】 ①成績優秀者に最長3年間給付型奨学金として月20,000円を給付 ②進学困難な西諸管内の指定校区及び市外からの通学者に、3年間通学支援として月5,000円を支給 ③学力向上支援のため、希望者を対象に、放課後、外部講師による公営塾を開設 ④経費削減プログラム事業として、セミナーや起業シミュレーションを開催					
	飯野高等学校生徒下宿等費用助成金	県立高等学校である飯野高校に在学する生徒が西諸管内の下宿等に居住する場合、下宿代等の一部を助成 【助成金額】 下宿の場合：下宿代の1/2以内(上限月額40,000円) 民間賃貸住宅の場合：家賃の1/2以内の額に、食費及び光熱費に対する支援として月額20,000円を加算した額(上限 月額40,000円)					
	日章学園九州国際高等学校生徒寮費助成事業	市内にある私立高等学校である日章学園九州国際高校に在学する生徒が寮内の寮に入学する場合に、寮費の一部を助成 【助成金額】 寮費の1/2以内(上限 月額25,000円)					
	えびの市奨学金貸与制度	一定の要件を満たす生徒に対し、無利子で奨学金を貸与 高等学校 月額20,000円または10,000円 高等専門学校 月額24,000円または12,000円 六大学等(短大含む) 月額40,000円または20,000円 入学一時金 500,000円以内 ※奨学生選考委員会が審議し、教育委員会が決定					
	学校給食費負担軽減補助	○ 中学生の給食費無償化 ○ 食材価格高騰に伴う学校給食用食料費の増額分補助 ○ 食材価格高騰に伴う学校給食用食料費の増額分補助					
	第3子以降保育料無料化事業	第3子以降の園児の保育料を無料とする。					
	第3子以降副食費無料化事業	第3子以降の園児の副食費を無料とする。					
	ファミリー・サポート・センター利用料助成事業	ファミリー・サポート・センター利用時の利用料を助成 【助成金額】1人1時間あたり300円					
	不妊治療費助成	不妊治療を行っている夫婦に対し、保険適用となる一般不妊治療または生殖補助医療に係る自己負担額の一部助成(補助率1/2) 一般不妊治療 上限100,000円/1子につき 生殖補助医療 上限200,000円/1子につき					
えびの市出産サポート119事業	消防署への情報提供により、妊娠中の緊急時に医療機関へ迅速に搬送を行う。						
妊産婦支援助成金	妊産婦に対し助成金を交付。 【助成金額】妊婦1回につき50,000円						

令和5年度 宮崎県内各市町村における独自の子育て支援策一覧

赤：金銭的支援、青：その他の支援

市町村	支援の項目	支援の内容	出生前	小学校就学前	小学校就学後			
					～小学校卒業	～中学校卒業	～高校卒業	
三股町	出産祝い品事業	町内に住む、生後3か月頃の児に対し、母子保健推進員が訪問にて、出産祝い品（R3年度は積み木）をプレゼント						
	すくすく教室	生後3～5か月の子どもを対象とした育児教室。フックスタートの目的で、絵本のプレゼント（2冊）						
	もぐもぐ教室	生後3～5か月の子どもを対象とした離乳食教室						
	赤ちゃん健診	誕生月の翌月頃に、1歳の前目の健診を健康管理センターにて実施。 【内容】身長・体重測定、助産師・保健師による問診、小児科医による診察、（希望者）おっぱい、栄養相談						
	2歳6か月児歯科健診	歯の診察に加え、子どもの発達や、ことばの発達確認を目的として実施 【内容】身長・体重測定、助産師・保健師による問診、歯科医師による診察、歯科衛生士によるフロンツング指導、（希望者）栄養、ことば相談						
	ほのほの教室	親子あそびの教室。子どもと一緒にできる様々な遊びを行いながら、保育士・心理士・保健師が様々な相談に対応						
	心理相談	心理相談員が、子どもの発達についての不安や、関わり方などの相談に対応※要予約						
	ことば相談	言語聴覚士が、子どものことば・発音・コミュニケーションの力を検査し、様々な相談に対応※要予約						
	ファミリー・サポート・センター 利用料助成事業	ファミリー・サポート・センターを利用する保護者の負担を軽減するために、町から利用料金の助成あり 助成額＝1人1時間あたり300円 ※1人目の子どものみ対象						
高原町	出産応援事業	妊産婦に対し助成金を交付。 【助成金額】妊娠1回につき20,000円						
	乳幼児もぐもぐ大好き教室	乳幼児とその保護者を対象とした離乳食教室						
	保育料等負担軽減事業	・第1号、第2号認定の児童の保育料助成 ・認可保育所等における保育料の負担軽減に加え、第2号は半額、第3号以降は全額無料 ・認可外保育施設の利用料や保育料とは別途徴収となっている給食費の補助。（第2号半額、第3号以降無償）						
	小中学校給食費等補助事業	学校給食費等の半額補助						
国富町	子ども医療費助成	町内に住む児童（中学校卒業まで）の医療費について、自己負担額を無償化。						
	ウッズスタート事業	出産のお祝いとして木製品を贈呈。						
	健やか子育てエール便	令和5年9月より6か月から1歳6か月になる間3回、おむつや離乳食など希望する育児グッズを自宅に届ける。						
	保育料負担軽減	保育料の負担軽減として、国の基準よりも低くなるよう保育料を設定。 ひとり親世帯等の第1号は、保育料が1/4。 令和5年9月より2人以上の幼児が入所している場合、2人目以降は保育料が無料。						
	障害児保育事業	保育が必要なお子に障がいがある「児童特別扶養手当」の対象となる乳幼児を保育所・認定こども園が受け入れるための補助。						
	在宅育児支援手当事業	令和5年9月より未就学児が2人以上世帯に限り、その中の第2号以降の子どもの生後7か月から3歳になるまで在宅で保育している保護者に対して、子育てに要する費用を支援し、子どもの健全な育成を図ることを目的に、月5千円を給付。						
	定住促進住宅家賃の減免	定住促進住宅に住む18歳未満の子を持つ世帯の家賃を減免。						
	すこやか学童保育事業	保護者が仕事等で昼間、家にいない家庭の「小学1年生～3年生」までの児童を、学校の長期休業中に、町内の保育所等を利用して、健全育成を図る。						
	学校給食費保護者負担軽減対策事業	学校給食の廃棄と物価高騰に伴う保護者負担の軽減を行う。						
綾町	出産祝金	第3号誕生で、100,000円、第4号誕生で300,000円を交付						
	新築住宅等取得支援事業補助	夫婦いずれかが18歳以上45歳未満の者または中学生以下の子を養育している者 要件①：新築又は新築住宅の購入 （1）町内事業者による建築 25万円に中学生以下1人につき5万円 加算×3年間（上限120万円） （2）町外事業者による建築 要件②：中古住宅の購入 15万円に中学生以下1人につき5万円 加算×3年間（上限90万円）						
	住宅料支援事業補助	夫婦いずれかが18歳以上40歳未満の者または中学生以下の子を養育している者 要件：住宅料月額から3万円を差し引いた額の80%（上限1万円/月）×3年間						
	高等学校等就学支援給付金	保護者の負担軽減・若者定住促進のため、町内のすべての高校生の保護者に通学費用の一部を給付						
新富町	高校生までの医療費無償化	町内に住む高校生等までの医療費について、受給者の自己負担額を無償化						
	保育料無償化	町内に住む3歳未満の幼児について、保育料を全額助成						
	学校給食費の無料化	町内の小中学生の給食費全額免除						
高鍋町	保育料利用者負担軽減	保育料を負担する方への軽減として、国の基準よりも低くなるよう保育料を設定						
	遠距離通学費補助	小学生（居住地区に依りて補助） 中学生（居住地区に依りて20,000円を上限に自転車購入費を補助）						
	乳幼児絵本読み聞かせ事業	絵本の読み聞かせを通じた親子のコミュニケーションや愛着形成を図るため、1歳児から3歳児までを対象にしたハートフル絵本をプレゼント						
	社協塾 まちなかコラボ	小学5年生から中学2年生を対象に、共働きやひとり親世帯等に対し、毎週土曜の午前中に地域のボランティアが学習支援を行う 小学生は国語、算数 中学生は英語、数学 小学1年生から18歳までの児童で不登校、ひきこもりや居場所のない子どもを支援し、平日の昼間に勉強や作業できる環境の提供 子ども食堂を毎月1回実施、そのほか農業体験、世代間交流を実施						

令和5年度 宮崎県内各市町村における独自の子育て支援策一覧

赤：金銭的支援、青：その他の支援

市町村	支援の項目	支援の内容	出生前	小学校就学前	小学校就学後			
					～小学校卒業	～中学校卒業	～高校卒業	
西米良村	保育料控除	利用者負担額及び給食費は、利用子ども及び保護者が村内に住所を有し、かつ、村内に居住する場合には、全額を控除						
	高等学校就学支援	村内に住所を有し、高等学校等に通う生徒一人につき、月額3万円を支給する。自宅から通学している生徒においては、月額3万円を上限とする交通費を支給						
	遠距離通学費補助	通学距離が4kmを超える通学者に対する補助。バス通学の場合は全額補助、保護者による自動車送迎についても距離に応じて補助						
	給食費の助成	村内の学校に在学する長子（長子は半額）を除く第2子以降の給食費を全額補助						
	奨学金（菊池奨学金）	村の奨学金制度で、高校等に進学する者に、5年間を限度に年額36万円を無利子で貸し付け、卒業後の就職により居住する場合は返済が免除						
	副教材購入補助	村内小学校、中学校の全児童生徒を対象に、保護者負担のあった副教材費について、小学校児童1人あたり8,000円、中学校生徒1人あたり22,000円を上限に村にて負担						
	修学旅行費用助成	・小学校：上限55,000円/人(東京方面) ・中学校：上限95,000円/人(岩手県)						
	出産祝い金	定住が見込まれる者に対して出産祝い金を交付する。第1子：5万円、第2子：15万円、第3子：30万円、第4子以降は第3子の額に10万円ずつ加算 非定住者については、一律5万円						
	安心出産助成	出産予定日の1ヶ月前に村の住基台帳に登録及び居住している妊婦に対して、出産直後に必要な育児に関する物品を出産予定児1人につき1セット支給						
	妊婦健診助成	・西米良村の住民基本台帳に登録されている妊婦に対して、受診券14枚を交付し助成。また、現に居住している妊婦については、受診券以外の妊婦健診についても助成						
	子育て支援金	・未就学児、保護者ともに西米良村の住民基本台帳に登録され、かつ、居住している未就学児を養育している保護者に対して、1世帯あたり8,000円×月分の商品券を交付。村内のコンビニ等で生活必需品の購入時に2割を限度に使用可能						
	医療福祉職育成奨学金	医療、福祉の資格取得を目指す者で、高校、大学などに通う者のうち、卒業後に村内での就労を目指す者に対して、村出学者年間7.2万円、それ以外年間3.6万円、最长4年間利用可。卒業後3年間就労で返済免除						
	中学生学力向上支援事業	中学生を対象に、週1回（中学3年生は週2回）、オンラインの塾を実施。講師は東大生に依頼。夏休み期間中は別途、学力向上セミナーを実施						
	自宅学習用タブレット端末整備	村所小学校、西米良中学校の全児童生徒を対象にタブレット端末1人2台を貸与						
定住促進住宅	移住者、移住子育て世帯を対象とし、子育て世帯支援として、中学生以下の子ども一人につき5,000円を家賃額から減額							
宮崎交通バス利用 友の会補助金交付事業	村所線を利用する際に村所駅で乗車券を購入した場合、高校生以上の場合は全額補助							
木城町	ふるさと回帰きょう暮らし定住促進奨励金（出産祝い金）	第2子10万円、第3子以降20万円の出産祝い金を支給						
	ふるさと回帰きょう暮らし定住促進奨励金（住宅取得奨励金・子育て加算）	住宅取得奨励金の交付について、15歳未満の子供一人当たり10万円の子育て加算						
	保育料軽減	保育料月額負担額を最高3万円に設定し、国の基準額より軽減						
	保育園等副食費の助成	3歳児以上保育料無償化に合わせ、町内在住の3歳以上保育園児の副食費についても町が助成						
	ふるさと回帰きょう暮らし定住促進（就学祝い金）	町内に居住している家族で、第2子以降が町内小学校に入学した際、祝金を支給（第2子以降100,000円）						
	町内小・中学校修学旅行補助金	修学旅行費の交通費を一部助成						
	義務教育給食費補助金	給食費の全額を助成（保護者負担なし）						
	奨学金貸付	経済的理由により就学困難なものに対し貸与する。 高校生：10,000円、専門学校・大学生：20,000円						
	学力向上サポーター	学級担任及び教科担任と連携を図りながら児童生徒の学習指導を行う。						
	特別支援サポーター	特別支援学級担任と連携を図りながら学校内外で適切に応じた学習指導及び生活指導を行う。						
	学用品購入補助金	学生服及び通学用品の購入費の1/4を助成する。						
	副教材費一部補助	前期課程4,000円、後期課程6,500円を補助する。						
	不妊治療費助成	不妊治療をしている夫婦又は事業協の夫婦に対し治療費の一部助成。 一般不妊治療：治療に要した費用（自己負担額）の上限10万円（1子ごと） 特定不妊治療：治療に要した費用（自己負担額）の上限20万円（1子ごと）						
	乳幼児任意予防接種事業	日本小児科学会推奨の任意予防接種でワクチンで予防できるもののみから、乳幼児の任意予防接種費用の一部を助成						
	フッ素塗布事業	1歳6か月から就学前の子を対象に年3回分の無料券を配布						
	フッ素洗口事業	町内の保育園に通う4歳以上の園児及び小・中学生の希望者を対象に週1回のフッ素洗口を実施						
	言葉の教室	言語聴覚士が就学前の子を対象に、ことばや発音などについて個別に対応。（要予約）						
	発達相談	臨床心理士が子どもの発達についての不安や関わり方などの相談に対応。（要予約）						
	5歳児健診	就学前（年中児）が対象。教育課と連携し、就学支援につなげる。						
川南町	保育料軽減	保育料が国の基準額の5割程度。保育料を第2子半額、第3子以降無料						
	子どもの医療費助成	18歳に達する日以後最初の3月31日までの子どもの医療費が無料						
	川南駅への無料シャトルバス	町外へ通学する生徒が利用するJRの発着時刻に合わせて、川南駅とトロントロンダムを結ぶシャトルバスの運行。高校生以下無料						
	かわみなみ公営塾	水曜日の放課後、中学校に民間学習塾の講師を派遣し、受験を控えた3年生の学習支援を行う						
高等学校就学支援	電報が町内に住所を有し、高等学校等に通う生徒一人につき、月額5,000円を支給（最大36カ月）							

令和5年度 宮崎県内各市町村における独自の子育て支援策一覧

赤：金銭的支援、青：その他の支援

市町村	支援の項目	支援の内容	出生前	小学校就学前	小学校就学後		
					～小学校卒業	～中学校卒業	～高校卒業
都農町	不妊治療費助成	不妊症の治療を行っている夫婦に対し、治療費の一部助成 【一般不妊治療】 人工授精や各種療法などにかかる費用を助成 15万円まで/年 【生殖補助医療】 体外受精や顕微授精などの高度な治療にかかる費用を助成 20万円まで/回 【先進医療】 医療保険適用外の先進的な医療技術として認められたもの 20万円まで/年					
	保育料無料化事業	町内に住所を有し、かつ、町内に居住する未就学児を養育する保護者が仕事と子育ての両立が出来るように保育園、認定こども園など保育園に通う未就学児の保育料を完全無料化					
	子育て応援手当	町内に居住し、保育園等に預けることなく自宅で乳幼児（0歳～3歳に達する日以降の最初の3月31日までのもの）を養育している保護者に対し、子育ての負担軽減と乳幼児の健全な育成のために子育て応援手当を支給 ・乳幼児の1歳の誕生日が属する月の前月まで・・・月額3万円 ・乳幼児の1歳の誕生日が属する月から・・・月額1万円					
	すこやか入学応援金	町内に住所を有し、新たに小学校に入学する児童を養育する方に児童1人あたり5万円を支給					
	学校給食費の無償化	町内の小中学生の給食費全額免除					
	フッ素塗布事業	町内小中学校の全児童生徒を対象に、1回の塗布につき800円（年2回実施）の利用券を配布					
	ヘルメット購入補助	児童の自転車用ヘルメット（SGマーク付）を購入した保護者に対し、購入費用の2分の1（上限2000円）を支給					
	遠距離通学費補助	通学距離が概ね片道4kmを超える通学者等に対し、バス利用料を全額補助					
	都農町高等学校等就学応援金	高校生を持つ保護者に対して、高等学校等の就学にかかる費用を補助することで経済的な負担軽減を図る。高校生もしくは保護者のどちらかが町内に在住していることが要件。生徒1人につき、3年間を限度に、年間33,000円交付					
都農町高校生夢未来応援事業	町内の高校生の実現や学校生活の充実を町と町内事業所が一体となって支援する。エントリーした高校生と、この事業に賛同し応援事業所に認定された町内事業所とをマッチングし、マッチングが成立した場合、毎年10万円を3年間、応援事業所から交付						
門川町	保育料軽減	保育料を国の基準額より低くし、子育て世帯の負担軽減を図る。					
	ブックスタート事業	7～8か月児健康診査の際に、絵本等の入ったブックスタート・バックを保護者に手渡し、赤ちゃんや保護者に心なれあうひとときを持つきっかけをつくる活動を実施。					
	奨学金貸付	向学心を持ちながら経済的理由により就学困難な者に対して学費の一部を貸与する。 高校：月額10,000円、専門学校・大学：月額20,000円					
	チャイルドシートの貸出	子育て支援センターで、チャイルドシートの貸出を実施（数に限り有り）					
	2歳児歯科検診	歯科診察・フッ素塗布に加え子どもの歯育・発達確認を行う。必要に応じて個別相談（心療士又は言語聴覚士）を実施。					
	ことばの教室	言語聴覚士が就学前の子どもを対象にことばや発音などについて個別に対応（要予約）					
	離乳食教室	離乳食が始まる頃の児がいる保護者を対象にした教室（年6回）					
	乳幼児任意予防接種事業	重症化の予防、感染症のまん延防止のため個別医療機関において実施する任意の予防接種について一部助成					
	フッ化物洗口事業	町内の保育所・こども園等に通う4歳以上の希望者に対しフッ化物洗口を実施					
	部活動・スポーツ少年団活動の補助	部活動・スポーツ少年団活動の町内公共施設使用料の減免（練習のみ）					
諸塚村	誕生祝い金支給事業	産生者に対し、第1子、第2子及び第3子30万円、第4子40万円、第5子以降は10万円加算で、出生時に支給。非定住者に対しては、一律5万円を支給					
	3歳未満児保育事業	6ヶ月～3歳未満の幼児を対象に、保育料無償で日中保育を実施					
	中学校卒業祝い金支給事業	中学校卒業時に就学支度支援を目的に、生徒1人一律10万円を支給					
	村奨学金貸付事業	高校、大学等に進学する生徒に対し、無利子で奨学金を貸与。卒業終了後、Uターンで村内に就職した場合、要件を満たせば償還免除。月額、高校・専門学校等3万円、大学4年生課程4万円、6年生課程4又は6万円、医学科8又は10万円の貸与					
	通学・通園補助事業	諸塚村立の保育所・幼稚園・小学校・中学校に通う児童生徒に対し、通学方法に応じ、一定の交通費を支給					
給食費支援事業	3歳以上の保育所や幼稚園に通う児童・小学生・中学生の給食費全額を支給						
椎葉村	高校生生活支援	高校生生活にかかる費用支援（1人あたり月2万円の交付）					
	奨学金貸付	高校：月額2万円又は3万円、専門学校月額2万円又は4万円、大学：月額2万5千円又は4万5千円※条件により返還の免除あり					
	誕生祝い金	出生に対し、20万円を支給					
	チャイルドシート購入助成	購入価格の1/2。ただし、上限を対象乳幼児1人に対し、1万5千円					
	子育て支援金	小学校就学時、小学校卒業時、中学校卒業時に児童ひとりあたり10万円を支給。					
	村産材活用事業（木製玩具贈呈）	村産材で制作した木製玩具を、1歳から6歳までの年齢に合わせた時期に贈呈。					
	村産材活用事業（命名ボード贈呈）	出生に対し、木版にプリンターで顔写真・名前を印刷した命名ボードを贈呈					
	保育料利用者負担軽減	国の基準より低い保育料の設定					
	ことばの教室	言語聴覚士による「ことばの教室」を定期的に実施					
	フッ化物洗口	保育所（4歳以上）、小・中学校において希望者に対しフッ化物洗口を行う					
	ファミリーサポートセンター利用助成	1人、1時間あたり660円助成。月の助成上限額1人29,700円					
不妊検査費・交通費助成	夫婦の不妊原因を調べるための検査費の全額を3万円を上限に助成。あわせて不妊検査を受ける医療機関までの交通費として、一律3万円を助成。						
妊産婦訪問事業	全ての妊産婦を対象に助産院助産師と村保健師が妊産婦宅を訪問し、妊産婦を継続的に支援する。						

令和5年度 宮崎県内各市町村における独自の子育て支援策一覧

赤：金銭的支援、青：その他の支援

市町村	支援の項目	支援の内容	出生前	小学校就学前	小学校就学後			
					～小学校卒業	～中学校卒業	～高校卒業	
美郷町	出生祝金	第1子…3万円 第2子…3万円 第3子…10万円						
	新生児誕生記念品贈呈	新生児が誕生した家庭に対して町産材を利用した木製の食器等を贈呈。						
	ブックスタート事業	乳児健診1回目(2～4ヶ月児)の子に対し、絵本を1人3冊選んでもらい進呈。						
	町立保育所給食費無償化	町内保育所の給食費全額免除						
	保育料利用者負担軽減	国の基準より低い保育料の設定						
	美郷町学校給食費	美郷町内の幼稚園・小学校・中学校に在学する園児・児童・生徒の学校給食費の保護者負担額 0円						
	遠距離通園・通学補助	小学校・中学校に通距離通学(学校から4km(6km以上)を必要とする児童生徒の通学費を補助(スクールバス運行エリア・中学生の自転車通学生生を除く)						
	育英奨学金	高校、大学進学時に町が貸付(高校2万円、大学5万円、医大6万円) リターン免除あり						
美郷町高校生就学支援事業	高等学校に在学する生徒、学生を持つ保護者に対し、生徒・学生1人あたり 月額10,000円(ただし4月、8月を除く年間10ヶ月)を補助							
高千穂町	子育て支援金	町内に1年以上住所を有する子育て世帯に手当を支給 第1子・・・出生、小学校入学、中学校入学時に30,000円 第2子・・・出生、小学校入学、中学校入学時に50,000円 第3子・・・出生、小学校入学、中学校入学時に100,000円 第4子以降は、第3子の額に50,000円ずつ加算 (例：第4子・・・150,000円、第5子・・・200,000円)						
	修学旅行補助	町内中学校に通学する第2学年生徒に対し、一人20,000円を補助						
	西臼杵子ども・障がい者ネットワーク	西臼杵3町の子ども・子育て・障がい福祉分野の総合的な相談・連携拠点 子育てや教育、福祉等について専門的な知識を持った職員(ソーシャルワーカー、保健師、臨床心理士)が関係機関とも連携しながらチームで対応						
	子育て用品の貸出	子育て支援センターで、チャイルドシートやベビーベッドなど子育て用品の貸出を実施(数に限りあり)						
	保育料補助事業	保育料を国の基準額より低くし、子育て世帯の負担軽減を図る						
妊活応援助成金給付事業	夫婦のいづれか一方又は双方が、住民基本台帳に1年以上登録されており居住実態があり、かつ1年以上本町に定住する見込みのある、不妊治療を受けている夫婦に対して、その不妊治療に要する費用から他の法令に基づく給付及び付加給付等を除いた自己負担分の合計額を補助							
日之影町	出産祝金事業	定住見込みあり第1子・2子…5万円、第3子…10万円、第4子以降20万円 定住見込みなし一律1万円						
	保育料補助事業	同一生計であれば、最年長の子を第1子とし、第3子以降にあたる子の保育料を全額補助						
	副食費補助事業	同一生計であれば、最年長の子を第1子とし、第3子以降にあたる子の副食費を全額補助						
	給食費補助事業	保護者の経済的負担を軽減するため、学校給食費を全額補助						
	中学校入学支援事業	中学校に入学した生徒を養育している保護者に支援金を支給						
	ブックスタート事業	絵本を渡し、赤ちゃんとふれ合う楽しいひとときを過ごせるよう出生した新生児を対象に絵本を1人3冊選んでもらい進呈。						
五ヶ瀬町	出産祝い金	要件を満たす場合に出産祝い金を交付 第1子が5万円、第2子が10万円、第3子が15万円、第4子以降が20万円						
	保育料利用者負担軽減	国の基準より低い保育料の設定						
	ブックスタート事業	乳幼児健診4ヶ月を迎える子に2冊絵本を贈呈						
	ウッドスタート事業	乳幼児健診7ヶ月を迎える子に木のおもちゃを1つ贈呈						
	フッ素塗布事業	2歳から5歳を対象に、半年に1回町内歯科診療所で行うフッ素塗布の費用の助成する。						
	妊婦健康診査交通費助成事業	妊婦健診を西臼杵郡外の産婦人科医療機関で受診した場合の交通費を助成する。1回2,000円(14回分)						
出産前宿泊費助成事業	町外の産婦人科医療機関で出産をする妊婦が、悪天候や妊娠経過の状況を見て、医療機関に宿泊した場合に、1泊1万円上限に助成を行う。							

※全国、宮崎県で一律に実施されている事業は除く

※地域子ども子育て支援事業(いわゆる13事業)、子育て支援乳幼児医療費助成事業は別表にて掲載